



## QBS学生会発 ソーシャルビジネスミーティング

『個人参加型、地域再生への新しいお金の流れ —鹿児島放牧豚ファンドを事例に—』

『被災地応援ファンド

—東日本大震災で被災した事業者の早期再建を応援する取り組み—』

### 概要

平成23年6月4日(土)、九州大学ビジネス・スクール(QBS)の主催により、ソーシャルビジネスミーティングを開催します。

これは、外部講師として、ミュージックセキュリティーズ株式会社 取締役 猪尾 愛隆氏、有限会社えこふあーむ 専務取締役 中村 えい子氏を迎え、地域再生ファンドでの取り組みを事例として、地域産業を活かしたビジネスの生み出し方、育て方や震災被災地支援に関する新たな取り組みなどについて、QBS現役生等といっしょになって学ぶイベントです。

### ■内容

#### ◎QBS学生会発 ソーシャルビジネスミーティング

- 日時：平成23年6月4日(土) 18時30分～20時30分(18時受付開始)
- 会場：AMUプラザ博多10F(博多駅) JR博多シティ会議室
- テーマ：『個人参加型、地域再生への新しいお金の流れ —鹿児島放牧豚ファンドを事例に—』  
『被災地応援ファンド  
—東日本大震災で被災した事業者の早期再建を応援する取り組み—』
- プログラム：
  1. 開会
  2. 主催者挨拶  
九州大学ビジネス・スクール 学生会 勉強会担当 今治 智隆
  3. 講演
    - ・ミュージックセキュリティーズ株式会社 取締役 猪尾 愛隆氏
    - ・有限会社えこふあーむ 専務取締役 中村 えい子氏
  4. 会場を交えた検討会
  5. 閉会
- 対象者：一般市民、学生(会費1000円・要事前申込・先着140名)
- 申込方法：事前に、QBSホームページ(<http://qbs.kyushu-u.ac.jp/>)に掲載する「申込フォーム」よりお申し込みください。※申込フォーム(<http://p.tl/oDjl>)
- 主催：九州大学ビジネス・スクール(QBS)  
九州大学ビジネス・スクール(QBS)学生会

#### 【お問い合わせ】

九州大学ビジネス・スクール(QBS)学生会 今治 智隆

電話：090-8345-9985

Mail：2EC10037R@s.kyushu-u.ac.jp



# ソーシャルビジネス ミーティング

## テーマ

- 個人参加型、地域再生への新しいお金の流れ  
鹿児島 放牧豚ファンドを事例に
- 被災地応援ファンド  
東日本大震災で被災した事業者の早期再建を応援する取り組み

# 6月4日

## SAT 18:30 - 20:30

先着140名

18時受付開始

会場：AMUプラザ博多10F（博多駅）  
JR博多シティ会議室

会費：1000円

受付：18時から開始

主催：QBS勉強会

### <申込方法>

以下のURLにアクセスし、  
Webフォームからお申込み  
ください。

<http://p.tl/oDjl>



### <講演者>

ミュージックセキュリティーズ株式会社  
取締役 猪尾 愛隆 氏

有限会社えこふぁーむ  
専務取締役 中村 えい子 氏



えこふぁーむでは、正しい食材こそが人を健康にすると考え、豚をパートナーに、大切な資源を未来から奪うのではなく、無駄にすることなく、未来へ残せる、生産者と消費者でつくる循環型農業を行っている。その様な事業者の想いと投資家からの資金が結実して新しいモノやサービスが生まれる。事業に関わってみたい個人が出会い、共感した事業に小額から投資できる。マイクロ投資プラットフォームからの新しい形で地域再生への挑戦!!

当日は講演者の承諾の上、ビデオ撮影致します。

また、取材報道が入る可能性もありますので、ご都合の悪い方は予め勉強会担当者へお知らせください。

### <お問い合わせ>

九州大学ビジネス・スクール勉強会担当 今治 智隆  
電話：090-8345-9985  
Mail：2EC10037R@s.kyushu-u.ac.jp

# 講演者プロフィール

ミュージックセキュリティーズ株式会社  
証券化事業部セキュリティ担当取締役

猪尾 愛隆 氏

慶應義塾大学政策・メディア研究科修了し、広告代理店（株）博報堂を経て、2005年より現職。  
第一次産業からITまで横断的に幅広い分野を担当。

各分野の一流の事業者の方々と出会え、真剣に向き合い、事業者の方の技術や想いと投資家からの資金が結実して新しいモノやサービスが生まれる現場に立ち会う体験が最高に楽しく、またとても誇りとする。

事業に関わってみたい個人が出会い、共感した事業に小額から投資できるマイクロ投資プラットフォームを事業化。10年間で11業種、33事業者に90本以上のファンドを通して、100作品以上の音楽CDや飲食店、純米酒、林業、農業などの沢山の事業が生まれている。

また、東日本大震災後はセキュリティ被災地応援ファンドを立ち上げ、大きな被害を受けた事業者が地元NPOに所属する市民や民間企業と連携し、早期再建を目指す新たな取り組みを行う。

有限会社えこふぁーむ 専務取締役

中村 えい子 氏

6人姉妹の5女。子供の頃は、裕福でないものの音楽があふれる家庭に育つ。長女は声楽家、次女はフルート奏者、三女は日本人で初めてウィーンのオペラ劇場で歌ったオペラ歌手の中村智子さん。4女もオペラ歌手。5女の中村えいこさんも、東京の音楽大学に進む。末っ子以外は、すべて音楽の道を進む。上の姉4人は、それぞれ結婚して、誰も、実家を継ごうとしなかったため、5女のえいこさんは、学生時代に交際していた今のご主人に婿養子になってもらって、実家へ帰る。

その後は夫と二人で家族の廃棄物処理業を引き継ぐが、故郷の自然環境を守るために産業廃棄物処理を始め、行政とともにゴミの不法廃棄を減らすことに力を注ぐ。その後、農業や畜産のあり方に疑問を持ち、えこふぁーむを設立。黒豚の放牧飼育や地産地消のレストラン経営などを通じて、既成概念にとらわれない、自然の摂理にそった農業、畜産のあり方を実践提案し、全国に向け発信している。